「PV-Green」マークの使用ガイドライン

特定非営利活動法人 太陽光発電所ネットワーク

特定非営利活動法人太陽光発電所ネッワーク（以下、PV-Net）によるグリーン電力証書システムにご参加いただき誠にありがとうございます。本ガイドラインは、ご契約者のみなさまに、グリーン電力証書システムへの参加を積極的にアピールしていただくと同時に、環境価値の誇大表現や誤解を招く表現等を防止するため、その所有者が行う表現について示すものです。

PV-Net の「PV-Green」マーク使用の詳細については、以下の通りとさせていただきます。なお、PV-Net は、必要に応じこのガイドラインを見直すことがあります。この場合、見直し後のマーク使用については、新しいガイドラインを適用させていただきます。

■ 1. マークの色の使用法

マークを使用する際には、別紙の PV-Green 商標：色指示表を基にしてください。また、マークの背景色は、極力、白色を用いてください。万一、指定色が使用できない場合は、原則として、白黒で用いてください。

■ 2. マークの作成（複製）

マークの作成（複製）には、PV-Net より配布された電子データを使用してください。マークの大きさは変更しても結構ですが、全体のバランスは変更しないでください。なお、指定された色以外の色の使用は原則として禁止します。

■ 3. グリーン価値所有者が証書の活用を表現する場合（環境報告書、パンフレット、ホームページ等の一般的な広報･宣伝媒体にマークを表示する場合）

グリーン電力証書システムの利用状況についての説明を記載してください。下記の①から③の例のような説明文を、マークに付随するようお願いします。名刺等の小さいものにマークを表示し、説明文を付随することが困難な場合は省略することができます。ホームページで使用する場合、マークおよびその説明文から、当会の指定するページへリンクを張ってください。

※ グリーンエネルギー認証センターの定める“表現等に関するグリーン電力証書所有者用ガイドライン”の内容を､遵守いただきます。

＜表現可能な例＞

①ご契約者全体としての取り組みの場合

・ 当社は年間○kWh を太陽光のグリーン電力でまかなっています（消費電力量の○%）。
・ 当社はグリーン電力証書システムに参加しています。
・ ○産の太陽光によるグリーン電力○kWh の活用を通して、グリーン電力の普及に貢献しています。

②ご契約者の特定事業所に割り当てる場合

・ 当工場で使用する電力○kWh を、太陽光のグリーン電力でまかなっています。
・ この事業所は○kWh 分の○産太陽光のグリーン電力を使用しています。

③イベント等で使用する場合

・ “（イベント名）”で使用する電力○kWh は、太陽光のグリーン電力（○産）でまかない、カーボンオフセットしています。
・ “（イベント名）”は、太陽光のグリーン電力を活用し、CO2 フリーで開催。

■ 4．製造･提供する製品やサービス、またはその広告にマークを表示する場合

該当する製品やサービスと、グリーン電力価値量との関連、または根拠等についての説明を記載してください。製造する製品や、そのパッケージ、パンフレット等に直接マークを表示する場合、下記の例のような説明文は、できる限り、マークに付随させてください。例えば、製品の取扱説明書等に記載しても結構です。なお、取扱説明書がない製品等、説明文を付随することが不可能な場合に限り、説明文を省略することができます。ホームページで使用する場合、マークおよびその説明文から、当会の指定するページへリンクを張ってください。

＜表現可能な例＞

・ ○○で使用する電気の＜すべて/一部/○%＞を、○産の太陽光のグリーン電力でまかなっています。
・ この商品は、太陽光のグリーン電力を使用し製造されています。
・ この商品には○kWh のグリーン電力が付いています。○kWh は…に相当します。
・ ○○を製造する工場で使用する電気は＜すべて/一部/○%＞、太陽光のグリーン電力（○kWh）でまかなっています。

■ 5．不当な表示や誇大広告の禁止

実際とは異なる誇大な表現、誤解を与えるような表示または表現は避けてください。例えば、あたかも使用する電気のすべてをグリーン電力証書システムでまかなっているかのような表現等にはくれぐれもご注意ください

（使用割合として “ すべて ” を用いる場合は「工場・イベント等の年間電気使用量」≦「グリーン電力証書の購入量」）　以上

（2008 年 6 月 20 日制定）